

# 貝桶形流水菊花葵文 ボンボニエール

個人蔵

昭和10年(1935)7月8日

径4.9cm 高5.8cm



北白川宮永久王・祥子妃(結婚式)  
昭和10年(1935)4月26日

明治中期以降、皇室・華族家等の慶事の際に小さな引出物が配られる慣習が生まれた。引き出物は華やかな意匠が施された小型の工芸品で、銀製の菓子器であることが多い。ヨーロッパでは子供の誕生や結婚式等の祝事の際に砂糖菓子(ボンボン)が配られ、その砂糖菓子を入れる容器をボンボニエール(Bonbonnière)と呼ぶことから、引出物全体がいつのころからか、「ボンボニエール」と呼ばれるようになった。現代の皇室においてもボンボニエールを引出物とする慣習は続いている。

作品は北白川宮永久王・祥子妃が結婚後に初めて、大宮御所での御晩餐に招かれた際に、貞明皇后より下賜された貝桶形のボンボニエールである。貝合わせは、対となる貝以外とは組み合わせることが出来ないことから、夫婦和合の象徴となり、貝桶は婚礼調度の中で最も重要な意味を持った。文様には天皇家を表す菊と祥子妃の実家徳川家を表す葵が描かれている。ごく近い人々のみの晩餐会であり、おそらくは数個しか制作されていないものと思われる。

北白川宮永久王は明治43年(1910)北白川宮成久王の第一王子として誕生。母は明治天皇第七皇女房子内親王。昭和6年(1931)陸軍士官学校卒業の後、陸軍砲兵少尉任官。昭和15年(1940)駐蒙軍参謀として赴任していた張家口で事故死を遂げる。31歳の若さであった。

祥子妃は大正5年(1916)男爵徳川義恕の次女として誕生。永久王に嫁ぎ、二児をもうける。永久王の薨去、さらに昭和22年(1947)の皇籍離脱と、激動の時代を生き抜いた。

(学芸員 長佐古美奈子)

## 学習院大学史料館からのお知らせ

### 平成28年度秋季特別展

### 君恋ふるころ

### —恋におちる日本美術—

【主催】学習院大学史料館

【共催】一般社団法人 霞会館

【協力】学習院大学文学部哲学科・日本語日本文学科

【会期・会場】

●平成28年10月1日(土)～12月10日(土)

開室：月～土曜 10:00～17:00

閉室：日曜・祝日、10月21日(金)・10月22日(土)

11月3日(木)～7日(月)

●北2号館1階 学習院大学史料館展示室

\*入場無料

●ギャラリートーク ①10/29(土) ②11/19(土)

\*いずれも14:00～ 展示室内 事前申し込み不要

【関連講座】

### 第81回学習院大学史料館講座

### 「王朝物語と絵画」

日時：10月8日(土)14:00～15:30(開場13:00)

会場：学習院創立百周年記念会館正堂

講師：佐野みどり氏(学習院大学文学部教授・史料館研究員)

\*入場無料 事前申し込み不要

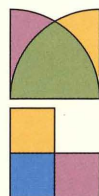
ミュージアム・レター第32号

2016年10月1日発行

〒171-8588 東京都豊島区目白1-5-1

電話 03(5992)1173

FAX 03(5992)9219



Gakushuin University Museum of History  
学習院大学史料館

●ホームページもご覧ください

<http://www.gakushuin.ac.jp/univ/ua>